



10月のほけんだより

2021. 10.1発行
みらいこども園
(看護師 板橋 裕希子)

朝晩は気温も下がり、涼しく感じる季節となりました。上着を脱ぎ着したり温度差に合わせて調節をしましょう。秋になり、食べ物もおいしい季節です。栄養たっぷりの旬のものを食べて、冬にそなえて元気に過ごしましょう。

10月10日は目の愛護デーです

生まれたときは、明暗を感じる程度の子どもの視力が、大人並みの視力 1.0 くらいになるのが6歳頃といわれています。子どもは視力に異常が生じても、自分で症状を訴えるのは難しいです。目を細めてみる・片眼で見る・顔を傾けてみる・まぶしがる・目をよくこする・目やにが多い。そんな様子が見られるときは早めに眼科を受診しましょう。



子どもに多い目の病気

◇流行性角結膜炎(はやり目)

結膜炎の中でも非常に感染力が強いのははやり目と呼ばれます。目の充血、多くの目やに涙、まぶたの腫れがあるようなときは受診し医師の指示に従い、許可を得てから登園しましょう。



◇ものもらい(麦粒腫)

まぶたにある、汗や脂を出す腺に菌が感染して、炎症を起こしたものです。ほとんどの場合、点眼薬、軟膏などで治りますが、長引くときは受診しましょう。

◇逆さまつげ

子どもはまぶたが厚いため、逆さまつげになることがよくあります。成長とともに自然に治る場合が多いですが3歳位になっても治らなければ、治療が必要なこともあります。



インフルエンザワクチン

インフルエンザワクチン接種開始は10月26日以降と厚生労働から発表がありました。今年は、新型コロナウイルス感染症との同時流行も予想され成人の接種がふえることが見込まれています。園に通っている子どもは集団生活をしています。保護者の方も接種することをお勧めします。

子どもの場合は、1シーズン2回接種が標準です。1回目と2回目は2~4週間の間隔が必要です。接種してから2週間以上経たないと効果が現れないので、流行する12月前に済ませることをお勧めします。アレルギーなど心配なお子さんの場合は、主治医の先生と相談してみましょう。

入園のしおりに記載されておりますが、本園ではご家族の方がインフルエンザに罹った場合、予防接種を受けていないお子さんは感染拡大防止のために欠席のご協力をお願いしています。

健診のお知らせ

10月11日(月) 13:30
0.1歳児健診

※都合により日程が変更になることがあります。その都度事前にご連絡いたします。

◇予防には

換気



手洗い



マスク

|